

## 四箇村まちづくり協議会 事業活動報告

本年度は『楽しく学ぶ地域の歴史講座』と題して、地域の歴史や文化を学べる講座を開催しました。

# 『楽しく学ぶ地域の歴史講座』

## 第1回「親子で学ぶ地域の歴史講座」

粟生津小学校では9月17日(木)、分水北小学校では10月30日(金)に「親子で学ぶ地域の歴史講座」を実施しました。アンケートでは「話がおもしろかった」、「話の内容はよくわかった」と嬉しい回答をいただきました。多くの児童が、感想だけではなく、講座を通して生まれた新たな疑問を書いてくれました。



分水北小学校 第1回  
地域の歴史講座

燕市イキイキまちづくり団体 四箇村まちづくり協議会  
歴史講座企画委員会 主催

こうまつ  
「高札」の謎を解け!

300年以上前に湯古新村に立てられていた高札を教室に持ち込みます。当時、どの村にも立てられていました。

私たち歴史講座企画委員会は、平成29年度より、四箇村地区(牧ヶ丘・佐野・湯古)の大人を対象に「楽しく学ぶ地域の歴史講座」を過去11回開催し、延べ420名の方々に参加していただきました。燕市からはイキイキまちづくり事業として、事業費の一部助成を受けています。

今回、若い世代から地域の歴史や文化に関心をもってもらいたいという願いから、四箇村地区を学区にもつ分水北小学校において「親子で学ぶ地域の歴史講座」を開催することになりました。

第一回目は今回は、今から300年以上前に、当時の湯古新村に立てられていた実物高札を教室に持ち込み、書かれている内容をわかりやすく解説し、江戸幕府が全国津々浦々にまで徹底させたある政策に迫ります。

日時 令和2年10月30日(金) 13:55~14:40  
場所 分水北小学校ランチルーム  
対象者 6年生の皆さん  
講師 古谷 清彦氏 (歴史講座企画委員長)

## 第12回「四箇村歴史講座」

11月27日(金)に四箇村ふれあい館アリーナにて講座を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大や冬場の夜間開催という悪条件下でも、30名もの方々が参加してくださりました。郷土の歴史や文化を知りたいという根強いニーズがあることの証でもあり、今回初めて参加したという方から、講座への賞賛のお言葉もいただきました。

11月27日(金)  
午後7時~8時30分

会場 四箇村ふれあい館(燕市溝37-1)  
講師 古谷 清彦氏 (歴史講座企画委員長)  
入場無料。参加申込みは不要です。  
皆様の参加をお待ちしております。

燕市イキイキまちづくり団体 四箇村まちづくり協議会  
歴史講座企画委員会 主催

※コロナ対策について

- ・三密回避の為ふれあい館内のアリーナで行います。
- ・入り口にて検温と手先の消毒を行います。
- ・マスクの着用をお願いします。
- ・体調の悪い方の入場はご遠慮下さい。
- ・お茶の配布は中止させて頂きます。
- ・受付の混雑回避の為、テラス下段の氏名連絡先を記入の上お持ちください。

※以下の場合には開催を中止致します。

- ・燕市の定める警戒レベルが「3」になった場合。
- ・主催者側に感染者が出た場合。
- ・イベント実施中に感染を疑われる者が発生した場合。

第十二回歴史講座  
お寺と民衆とのつながり  
檀家制度のはじまり

事業名

『楽しく学ぶ地域の歴史講座』

四箇村まちづくり協議会

---

# 事業の目的と特徴

## <目的>

郷土の歴史や文化について知りたいというニーズに応え、それを掘り起し、郷土への愛着や誇りをもってもらおう。

## <特徴>

地域に残る古文書や文化財の解説にとどまらず、それを効果的に活用しながら参加者の問題意識を高め、それが解き明かされるおもしろさを追求する。

# 事業の経過と成果①

**第12回歴史講座 R2. 11. 27 実施**

**テーマ「お寺と民衆のつながり」その1**

**～檀家制度のはじまり～**

**コロナウィルス感染拡大の最中で、冬場の夜間  
開催となったが30名の参加があった。**

## 事業の経過と成果②

若い世代からも、郷土の歴史や文化に関心をもってもらいたいという願いから



四箇村を学区にもつ粟生津小学校と分水北小学校の6年生児童とその保護者を対象に、  
第1回「親子で学ぶ地域の歴史講座」を開催した。

**粟生津小学校 R2. 9. 17 実施**

**分水北小学校 R2. 10. 30 実施**

テーマ「高札の謎を解け！」

# 事業の経過と成果②

## ◆ <児童からのアンケート調査の結果>

1. お話はおもしろかったですか。

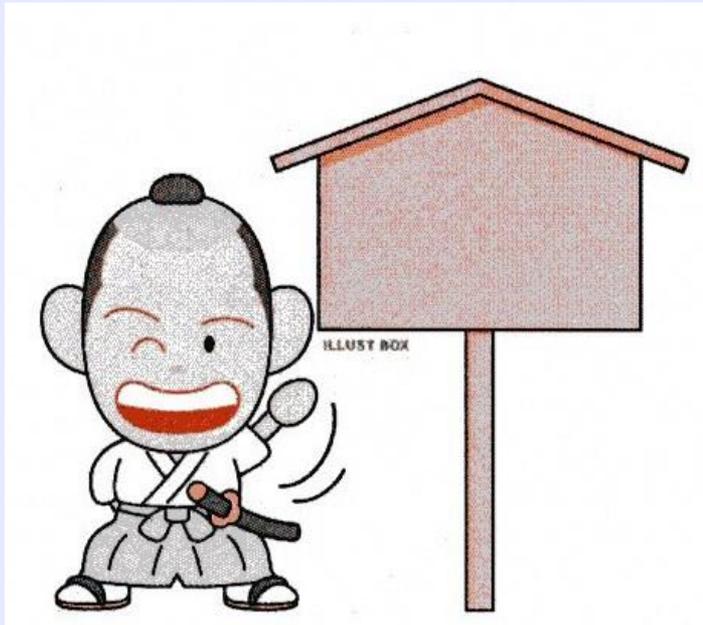
ア おもしろかった(84%)    イ ふつう(16%)

2. お話の内容はわかりましたか。

ア よくわかった(77%)    イ だいたいわかった(23%)

# 歴史講座の実際

## 第1回「親子で学ぶ地域の歴史講座」を例に テーマ「高札の謎を解け!」



江戸時代、民衆に、守らなければならないいきまり、してはいけないことなどを記し、人通りの多い場所に高く掲げた板の札。どの村にも掲げられた。

(1) 地元や近隣の史資料を使い、内容を正確に読み解く。

正徳5年(1711)溝古新村の「キリスト教禁制の高札」



定

キリスト教は昔から禁止されている。きりしたんかもしれない者がいたら申し出なさい。申し出た者にはほうびを出す。

はてれんを訴えた者には 銀五百枚

いるまんを訴えた者には 銀三百枚

立ちかへりを訴えた者には 銀三百枚

同宿や信者を訴えた者には 銀百枚

自分が同宿や信者であっても、

仲間を訴えた者には 銀五百枚

もし、きりしたんをかくまっていたことがわかったら、庄屋や五人組全員を処罰する。

正徳元年（一七一七）五月

奉行

- ◆ バテレン (神父・宣教師) の訴人 → 銀500枚
- ◆ イルマン (修道士) の訴人 → 銀300枚
- ◆ 立ちかえり (再びキリスト教の信者になった者) の訴人  
→ 銀300枚

◆ 同宿(協力者) 宗門(信者)の訴人

➡ 銀100枚

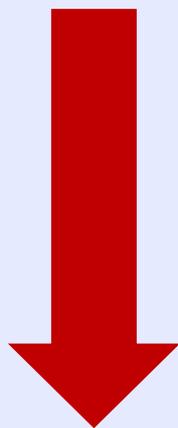
◆ 仲間の訴人 ➡ 銀500枚

◆ キリシタンをかくまっていたのがわかったら名主も五人組も処罰する。



ほうびの銀500枚とは  
ちょうぎん

丁銀 1枚 = 約161g



※現500円硬貨 = 7g

丁銀500枚 = 約80kg

◆ 丁銀500枚を小判にかえると  
何枚になるか？



• 丁銀500枚 = 約**358両**



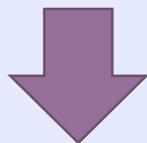
• **358両**は今のお金でいくらか？

もん

かけそば一杯=6文(江戸時代初期)



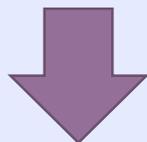
- ある立ち食いそば店では  
かけそば一杯の値段=150円=6文(江戸時代)



一文の価値は 25 円

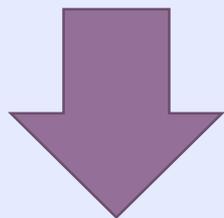


- 1両 = 4000文



一両の価値は 10 万円

◆金1両の価値を10万円とすると、



358両は 3,580万円になる。

(2) 疑問を投げかけ、問題意識を高め、論証。

- ◆ 「江戸幕府は、なぜここまでしてキリスト教を禁止しようとしたのか」と投げかけ、

寛永14年(1637)に起きた「島原・天草一揆」を説明し、論証する。